

ワクチンを接種した方も着実に増えつつあり、世の中も少し前向きな雰囲気が出てきたと安心していただけるところ、急速に変異種が拡大し始めました。文化事業の計画は1年単位、半年単位ですが、新型コロナの流行は1か月単位で状況が変わるので本当に困ります。文化事業の内容によっても感染リスクが異なり、開催判断に困惑される文化団体の方もいらっしゃるでしょう。どのような判断になっても、お互いにせめて思いやりを忘れずにいたいものです。

令和3年度豊橋文化祭 文化祭開会式典を開催します。

10月、11月は豊橋文化祭月間として、いけばな展や音楽連盟コンサートなど様々な行事が行われます。豊橋市及び豊橋文化振興財団では、その幕開けとして9月25日(土)に開会式典と記念公演を行います。記念公演では、昨年度の豊橋文化奨励賞を受賞された鈴木直己さんによるコンサートを行います。ぜひ、ご来場ください。

とき ● 令和3年9月25日(土) 午後2時開式

ところ ● 豊橋市民文化会館ホール

- ▶ オープニング演奏 / 加藤信子社中による箏曲の演奏
- ▶ 表彰 / 地域文化振興活動功労賞、郷土文芸作品表彰
- ▶ 記念公演 / 鈴木直己『のぞいてみよう!作曲家のお仕事』
- ▶ 入場料 / 無料(要・整理券)
- ▶ 要整理券 / 9月1日(水)から豊橋市役所「文化のまち」づくり課、豊橋市民文化会館、穂の国とよはし芸術劇場1階窓口にて配布します。
- ▶ その他 / 例年豊橋文化祭開会式典において行っておりました豊橋文化賞、豊橋文化奨励賞の表彰式は11月3日(水・祝)の豊橋文化振興財団設立20周年記念式典で行います。
- ▶ 問合せ / (公財)豊橋文化振興財団 ☎0532-39-5211

第48回豊橋市民お月見会(今年もステイホーム)

今年もお月見会の季節がやってきました。当日は会場として三の丸会館を午後8時まで開放しますが、昨年に引き続き、立礼席の延長営業や和楽器演奏は行いません。できるだけ、それぞれの家から見える月の美しさに想いを馳せ、俳句・短歌・川柳を詠んでぜひご投稿ください。



- ▶ 日時 / 令和3年9月22日[水] 午後5時~午後8時
- ▶ 会場 / 三の丸会館(豊橋公園内)
- ▶ 部門 / 短歌の部、俳句の部、川柳の部
- ▶ 投稿票 / 三の丸会館、豊橋市民文化会館、穂の国とよはし芸術劇場で配布
- ▶ 投稿期間 / 9月22日[水]~9月28日[火]
- ▶ 投稿方法 / 期間中、投稿箱を三の丸会館内に設置します。期間内に詠まれた作品を投稿箱にお入れいただくか、官製ハガキで郵送してください。※9月28日必着。三の丸会館現地読みみなくても可。

【昨年特選作品ご紹介】

- (短歌) 病室の灯火ひとつひとつ消え満月だけが夜空に灯る 高柳 尚子
- (川柳) 食いしほる自肅の民を照らす月 近藤 清司
- (俳句) エプロンで手を拭ひつつ月を待つ 増谷いち子

とき ● 令和3年9月22日(水) 17時~20時

ところ ● 三の丸会館(豊橋公園内)

「月」をテーマにした短歌・川柳・俳句を作ります。入選作は後日表彰し作品集に掲載します。ふるってご応募ください。

豊橋総合いけばな展のご案内

豊橋華道連盟の9流派による合同いけばな展です。出色の作品群をどうぞお楽しみください。

とき ● 令和3年10月16日(土)~17日(日)

午前10時~午後4時

ところ ● 豊橋市民文化会館2階展示室

- ▶ 出瓶団体 / 小原流、南宗流、真生流、日本生花司松月堂古流、花芸安達流、日本華道松月、天生流、嵯峨御流、華道家元池坊(順不同)
- ▶ 入場料 / 無料
- ▶ 問合せ / (公財)豊橋文化振興財団 ☎0532-39-5211



豊橋文化振興財団設立20周年記念式典&記念講演会

豊橋文化振興財団は平成13年に設立され、今年で20周年となります。また、その前身組織である豊橋文化協会の設立から数えると75周年となります。この節目の年に、下記のとおり記念式典と講演会を開催いたします。維持会員の方は事前参加申込(応募多数の場合は抽選)が可能です。申込方法等については、下記をご確認ください。

とき ● 令和3年11月3日(水・祝) 午後2時開式

ところ ● ライフポートとよはしコンサートホール

記念講演会 ● 講師・渡辺えり(劇作家・演出家・俳優・歌手)

- ▶ 表彰式 / 豊橋文化賞、豊橋文化奨励賞表彰式
- ▶ オープニング演奏 / 藤ノ花女子高等学校箏曲部
- ▶ 参加料 / 無料(要・整理券)
- ▶ 整理券の抽選申込 / 【一般の方】①~④の必要事項をご記入の上、郵便はがきに9月21日(火)~10月1日(金)(必着)までに豊橋文化振興財団「記念式典係」へお申込みください。または、当財団ホームページからお申込みいただけます。①氏名 ②住所 ③電話番号 ④申込枚数(2枚まで)
- ハガキ送付先:〒440-0887 豊橋市西小田原町123番地 公益財団法人豊橋文化振興財団「記念式典係」
- 【維持会員の方】一般の方より優先してのお申込みが可能です。同封の案内文をご確認ください。
- ▶ その他 / 一般、維持会員とも定員を上回った場合は抽選を行います。当選者には整理券の発送をもってお知らせします。整理券が届かない場合は、申し訳ございませんが落選となります。

行事の中止及び変更の案内

新型コロナウイルス等の影響により、当初予定しておりました下記の事業は今年度中止及び変更させていただきます。何卒ご了承くださいませようお願い致します。

【中止】

- 10月17日(日) 令和3年度愛知県民茶会
- 10月31日(日) 邦楽大会日本舞踊の部
- 11月17日(水) コーラスのつどい

【変更】

- 邦楽大会は当初、新舞踊の部は11月7日(日)に予定しておりましたが、今年一部簡素化した上で、希望団体により11月13日(土)、14日(日)に、他部門と合同で開催する予定です。

豊橋市表彰

豊橋市は、今年度の市勢功労者および教育、体育、文化表彰の対象者をそれぞれ発表しました。文化表彰では3名1団体が選ばれ、8月1日開催の市制施行日記念式典で表彰されました。

【文化表彰】

- 芸術文化の普及・向上や文化財の保存・活用など、文化に関する分野においてその振興・発展に貢献された個人または団体として次の方が表彰されました。
- (1) 文化振興賞: 宮城照己さん、原田ちよ子さん、日本民謡研究会豊田会
- (2) 文化振興特別賞: 富長覚梁さん

藤原理事長が 愛知県文化協会連合会会長 を退任しました。

当財団の藤原俊理事長が令和元年5月より2年の任期で務めていた愛知県文化協会連合会会長を退任し、感謝状を受取りました。



今号の
一枚

戸澤美千代
(等迦会会員)
「奉華」
100号(日本画)

渥美半島にある七ヶ寺のご本尊を「東海七福神」として豊川稲荷において、一堂に会し御開帳されました。法会の後、中国女性の琵琶奏者による演奏会が催され素晴らしい一時を堪能。琵琶の音色と豊川稲荷本堂の雰囲気マッチ。我が家の庭に咲いた白牡丹一輪の大きさ、向き、を変化させバックに描き、最後に観音様を金泥にて線描きで添えてみました。

今もまだ岩絵の具に振り回されながら、自分らしい作品を楽しく描いていくことを目標に頑張っています。

2020年新東京国立美術館にて開催された等迦会本展に出品。
戸澤美千代第三回日本画家個展(人物・輝きの刻)に出品予定。

文化団体 紹介 Vol.34

長唄さくら会

長唄の華やかな世界を感じてほしい

今回の文化団体紹介は、長唄さくら会さんへお伺いしました。取材の日は、6名の生徒さんが11月の邦楽大会へ向け長唄「供奴」をお稽古中。毎月2回、第2、第4水曜日にお昼を挟んでの午前・午後と長丁場のお稽古です。休憩時間に会を主宰される竹内さくら先生と生徒さんが取材に答えてくれました。

— みなさん午前中から午後までのお稽古大変ですね。

(生徒さん) 先生は大変かもしれないけど、私たちは楽しいから大丈夫(笑)。他の人のお稽古を見るのもお稽古のうちです。長唄が上手になるには、長く続けることが大切です、そのためには楽しくないと。その点、さくら先生はとっても優しく、私もいつもお稽古の日を楽しみにしてるんですよ。

— 確かにとてもアットホームな雰囲気です。先生は指導にあたって大切にされることなどありますか?

私も色々な先生に指導を受けてきましたが、みなさんに長く頑張ってもらおうために、楽しい教室を意識しています。伝統芸能はこうでなければ、という格式ばったものは全くありません。なにせずっと私が年少者なので、長唄以外ではみなさんに教えてもらうことが多いです(笑)。一曲の長唄を唄と三味線に分かれて、みんなで息を合わせて演奏する、華やかな世界を感じてもらえたらと思っています。

— 先生は藤枝市在住で豊橋まで通っていられますが、藤枝と豊橋で何か違いを感じますか?

静岡では各地のお祭りで長唄の伴奏で地踊りをしたり、子どもがお囃子や踊りを披露したり、幼少時から邦楽に自然に親しむ機会が多くて残っていて、豊橋もそうなるといいなあと少し思っています。でも豊橋には邦楽大会や邦楽鑑賞会・長唄演奏会があって、やはり大きな舞台での発表の機会があるというのはお稽古の励みになりますし、なりより気持ちが良いですね。

— 先生が長唄のお師匠になられるまでのいきさつを教えてください。

私はもともと日本舞踊を習っていたのですが、その伴奏音楽の地方(じかた)の方に関心が移っていき、長唄・三味線を小学校3年生くらいから始めました。本格的に名古屋や東京へもお稽古に行くようになり、東京藝術大学邦楽科長唄

専攻へ進学、同大学院三味線音楽研究科を修了しました。その後試験・研修を経て東京藝術大学出身者で構成している長唄の演奏家団体「東音会」へ入り、現在は「東音竹内さくら」「杵屋喜沙羅」の二つの名前で、愛知と静岡を主な拠点として活動しています。

— 邦楽という少し理解が難しいと感じることもあります。

そうですね。私はほとんど邦楽の中で暮らしてきたので自然に感じますが、長唄では三味線は確固とした音階によるのではなく、あくまで唄に音を合わせるような部分があって、それがまた流派や師匠によっても合わせ方が異なったりして、良い意味でも悪い意味でも曖昧な部分があるので(笑)、そこが難しいと感じられるところかもしれません。でも、長くお稽古を続けていく中で、その曖昧さの中にある自由を楽しめるようになると、ひょっとしたら洋楽にはない新しい世界がそこにあるのかもしれない。長唄はとにかく長い唄なので、少しでも耳にある曲から、最近の学校教育で習う曲、または端唄や俗曲などもお楽しみで唄ったりもします。

みなさん、三味線の音色を聴くと心地が良いと言ってくれるように、音の響きや曲の情景などを思いながら長唄を気軽に楽しんでもらえればとても嬉しいです。

お稽古の様子もピリピリと緊張した空気はなく、どことなくのんびり。みんな純粋に邦楽・長唄が好きなのは嬉しい。さくら先生のお稽古が楽しいって聞いたからと、若い生徒さんもしつり入ったばかりだそう。頑張れば3か月くらいのお稽古で1曲覚えられるそうですよ。長唄に興味がある方は、ぜひご紹介するので事務局までご連絡ください。



